

兵庫県芸術文化協会
(公財) 兵庫県芸術文化協会文化振興部
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町
1丁目5番7号 神戸情報文化ビル2F
Tel.078-321-2002
編集・発行人／谷口賢行
(公財) 兵庫県芸術文化協会理事長



公式SNS やっています！

460号

2025年
10月号



題字：井茂圭洞（書家・文化勲章受章者）

令和7年度 谷口義子先生と歩く 阪神間モダニズム建築を訪ねる

ふるさとウォーク

～ヨドコウ迎賓館から芦屋川沿いに名建築を巡る～



詳しくはこちら

谷口義子先生と一緒に阪神間モダニズム建築を巡るウォーキング企画の第3弾は、フランク・ロイド・ライトが設計した傑作・ヨドコウ迎賓館(国指定重要文化財)から、芦屋川沿いを下って芦屋に息づく名建築と史跡の数々を訪れます。近代建築の美と歴史を体感しましょう。

- 日程 11月28日(金) ■集合場所 阪急芦屋川駅に13時集合
- コース 阪急芦屋川駅集合→ヨドコウ迎賓館：内部見学※集合場所からヨドコウ迎賓館まで勾配が続きます→猿丸翁頌徳碑・細雪碑→芦屋仏教会館→松ノ内緑地(業平歌碑)→芦屋市民センター→芦屋警察旧館→芦屋モノリス(旧通信省別館)→旧宮塚町住宅→JR 芦屋駅解散(行程約2.8キロ、所要時間は約3時間半)
- 参加費 一般3,700円、友の会会員2,700円(傷害保険料を含む)
- 定員 20名※応募者多数の場合は抽選。歩きやすい靴、服装でご参加ください。
- 講師 谷口義子(神戸学院大学非常勤講師)
- 申し込み方法 ①往復ハガキ、②FAX、③メールのいずれか
①催し名②参加人数(2名まで)③申込者全員の氏名、ふりがな、生年月日、住所、日中連絡が取れる電話番号④友の会の方は会員番号を明記して、兵庫県芸術文化協会(①〒650-0044神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル2F、②078-321-2139、③seibun@hyogo-arts.or.jp)へ。
- 締切(①②③共通) 10月31日(金)必着



芦屋の市街を一望する小高い丘の上に建つ
ヨドコウ迎賓館(旧山邑家住宅)

兵庫県立芸術文化センター開館20周年事業

オープンデー

11/29(土)開催



ひょうご
プレミアム芸術デー



詳しくはこちら

兵庫県立芸術文化センターは、開館20周年を記念した「オープンデー」(ひょうごプレミアム芸術デー)を開催します。3つのホールやリハーサル室、エントランスなど館内のあちこちで0歳から入場できる無料のイベントを実施し、小さな子ども連れの家族や障害のある方など、どなたでも参加できる楽しい一日を展開します。ぜひ、ご来場ください！



- 日時 11月29日(土)9時30分～17時
- 申し込み 10月9日(木)10時～(Web、☎0798-68-0255)
- 【主なイベント内容】(◆は要事前申し込み、◇は申し込み不要)
KOBELCO 大ホール：◆佐渡裕芸術監督トーク＆栗辻聡指揮兵庫芸術文化センター管弦楽団ミニコンサート
阪急 中ホール：◆謎解きバックステージツアー ◇阪急電車によるイベント
神戸女学院小ホール：◆スーパーキッズ・オーケストラ ミニコンサート
◆神戸女学院大学音楽学部の学生が贈る！子どものためのコンサート
リハーサル室①：◆佐渡裕芸術監督による絵本読み聞かせ「はじめてのオーケストラ」
共通ロビー「ピアッツァ」：◇ひょうごの特産品販売、飲食ブースなどの物産展
このほかにもイベントは盛りだくさん！ 詳細は上の二次元コードから。

ひょうごの新進芸術家 リサイタルシリーズ vol.75

東海林 茉奈 ピアノリサイタル



将来の活躍が期待される兵庫ゆかりのアーティストを支援する「ひょうごの新進芸術家 リサイタルシリーズ」。令和8年1月は「東海林 茉奈 ピアノリサイタル」を開催します。
東海林茉奈＝第19回ショパン国際ピアノコンクール本大会出場予定。第6回ロザリオ・マルチアーノ国際ピアノコンクール第1位。東京藝術大学音楽学部器楽科及び、同大学大学院修士課程音楽研究科修了。ビドゴシュチ音楽院研究科在籍中。

- 日時 令和8年1月27日(火)18時30分
- 場所 芸術文化センター 神戸女学院小ホール ■入場料 一般3,000円、高校生以下1,500円(全席自由) ※チケット販売場所:当協会事務所(当協会友の会会員の方は1割引。会員証をご提示ください)
- 申し込み・問い合わせ 当協会文化振興部☎078-321-2002

読者プレゼント

チケットを抽選で3組6人に。
会員特典として友の会会員5組10人をご招待。
※いずれも応募多数の場合は抽選。応募方法は本紙2面。
10月17日(金)必着。

ひょうごアーティストサロン ミュージアムコンサート

前田 真希 ソプラノコンサート

今回のミュージアムコンサートは「前田真希 ソプラノコンサート」を開催します。やなせたかしさん作詞の曲など、みなさんに楽しんでいただけるプログラムです。ぜひ、ご来場ください♪



- 日時 11月8日(土)14時～14時30分
- 場所 横尾忠則現代美術館 1階オープンスタジオ
- 出演 ソプラノ／前田 真希
ピアノ／雁瀬 由香
- 入場料 無料
- 問い合わせ 当協会文化振興部☎078-321-2002



10月の伝統文化、
地域の祭り・イベント

ネットイ相撲／10月13日(月・祝)13時頃～／水谷神社境内(養父市)／秋祭りに奉納される伝統神事で、起源は平安時代の朝廷儀式と言われる。袴姿の舞い手2人が上半身裸で四股を踏み、かけ声とともに手を振り下ろしたり、互いの首を抱えて飛び回ったりする儀式で、今の相撲の原型ともされる。国選択無形文化財、県指定無形民俗文化財に指定されています。

ひょうごのアートに会いに行こう！

ART

GENKI

アートde元気ネットワークひょうご

下町芸術祭2025

“アートが日常となる下町”をテーマに2年に1度実施される「下町芸術祭2025」が、今年も神戸市長田区の新長田一帯で開催されます。

地域住民らと協力してカフェやバー、コミュニティスペース、工場、福祉施設などの施設を表現の舞台にし、地域ゆかりの作家の作品や、地域に滞在して制作した作品などを披露する試み。今年で10年目を迎えます。

【日時】10月18日(土)～11月3日(月・祝) ※開催日や時間は各プログラムにより変動

【場所】神戸市長田区の新長田一帯

【問い合わせ】下町芸術祭2025

https://shitamachi-artfes.com/contact/

あさご芸術の森アートフェスティバル 風と光のページェント

あさご芸術の森美術館の広大な野外彫刻庭園とその周辺で、アーティストによるキャンドルの灯りの演出・展示、子どもたちが描いたキャンドル絵などで会場を彩ります。魂を揺さぶる風と光の饗宴をお楽しみください。

【日時】10月18日(土)、19日(日)

【場所】あさご芸術の森美術館、同館 彫刻公園(朝来市)

【問い合わせ】あさご芸術の森美術館

☎ 079-670-4111

IKUHART PROJECT2025 日韓アート交流事業

国内最大規模の鉄器生産集落が発掘された五斗長垣内遺跡と関係が深い淡路島育波と、原材料となる韓国の鉄の生産地を結んだルートを「IRON ROAD」と名づけ、アート交流する企画。

韓国人作家らを受け入れて作品制作や展示を行います。

【日時】11月2日(日)まで

【場所】IKUHART STUDIO など【問い合わせ】一般社団法人 IKUHART 企画☎090-3651-7776

催物情報

イベントガイド

ひょうごアーティストサロン

※入場無料

☎078-321-2005

原田の森ギャラリー

※入場無料

☎078-801-1591

横尾忠則現代美術館

☎078-855-5607

兵庫県立考古博物館

☎079-437-5589

兵庫県立歴史博物館

☎079-288-9011

芦屋市谷崎潤一郎記念館

☎0797-23-5852

酒ミュージアム(白鹿記念酒造博物館)

☎0798-33-0008

中之島香雪美術館

☎06-6210-3766

秋の特別展「文豪は戦の間に咲く～谷崎の戦争と平和～」

9月13日(土)～12月7日(日)

戦争と平和との間で大きく揺らぐ日本と世界の有様を受けとめ、花開いていった文豪・谷崎潤一郎の豊かな作品世界を読み解きます。

※観覧料600円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切10月17日(金)必着

秋季展「木版の19世紀」

～11月24日(月・振休)

江戸末期から明治中期の19世紀に最も繁栄した木版印刷の和本と錦絵を展示し、往時の木版文化の盛衰をたどります。

※入館料500円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切10月17日(金)必着

特別展「ベルナール・ビュフェ美術館所蔵 ベルナール・ビュフェー「線」に命を捧げた孤高の画家ー」

10月4日(土)～12月14日(日)

これまで美術の歴史で語られることがなかったビュフェ作品を問い直し、ピカソに並ぶ巨匠として再評価の機運がある彼の視線の中にあった真実(リアル)を探ります。

※入館料1,600円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切10月17日(金)必着

秋季特別展「播磨の考古学ー今里幾次の弥生と瓦と駅家研究ー」

～11月24日(月・振休)

兵庫県の考古学研究を牽引した今里幾次(1919-2017)の業績と資料を披露し、そこから発展した最新の研究成果についても紹介します。

※観覧料500円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切10月17日(金)必着

企画展「童謡と大正ロマン」

10月4日(土)～11月24日(月・振休)

大正期の「童謡」をテーマに、雑誌「赤い鳥」や「青い鳥楽譜」の芸術性の高いモダンな表紙絵など約220件を展示。当時の童謡の貴重なレコード音源が聞けるコーナーも設けています。

※観覧料700円ほか【友の会割引あり】

5組10人にチケットプレゼント。締切10月17日(金)必着

プレゼントのご応募について

①希望プレゼント名 ②〒住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤友の会会員の方は会員番号 ⑥ご意見・ご感想を明記し、ハガキかFAXで送付。

*応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

*応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会が厳重に管理し、プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル2階 (公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係 FAX 078-321-2139



ピッコロシアター・兵庫県立ピッコロ劇団

【申込み・問い合わせ】 ☎06-6426-1940 9時～21時・月曜休み ※祝日の場合翌日

<https://piccolo-theater.jp>アクセス ▶ ■ JR 宝塚線塚口駅西出口より、西へ徒歩約5分
■ 阪急神戸線塚口駅南出口より、南東徒歩約10分
兵庫県芸術文化協会友の会会員は、主催公演を割引で鑑賞できます
（本人のみ、事前予約・要会員証）

ピッコロ演劇学校 本科・研究科 令和7年度前期発表会

Piccolo Passo ～小さな一歩～

2025年4月入学の学校生たちによる初めての舞台、前期発表会を開催します。
<入場無料・申込不要・当日自由入場> ※開演45分前より整理券配布ピッコロ演劇学校 本科 42期生
『いっしょ』～4つのオムニバス～

【台本・演出・出演】ピッコロ演劇学校 本科 42期生

【上演指導】菅原ゆうき（兵庫県立ピッコロ劇団）

【日時】10月25日(土) 17時／26日(日) 14時 【場所】ピッコロシアター 中ホール



昨年の公演より

ピッコロ演劇学校 研究科 41期生
『どん底で』シーン発表

【原作】M. ゴーリキー「どん底」【台本・演出】島守辰明（兵庫県立ピッコロ劇団）

【日時】11月1日(土) 17時／2日(日) 13時 【場所】ピッコロシアター 中ホール



昨年の公演より

ピッコロシアター鑑賞劇場

オペラシアターこんにゃく座公演

オペラ ルドルフとイッパイアッテナ

知らない世界に迷い込んだ小さな黒ねこルドルフの冒険と友情の物語。

【原作】斉藤洋（講談社刊「ルドルフとイッパイアッテナ」による）

【台本】いずみ凜 【作曲】信長貴富 【演出】立山ひろみ

【日時】12月7日(日) 15時

【場所】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】〈自由席〉

大人3,500円、子ども1,500円

セット券(大人+子ども)4,500円

※子ども=3歳以上高校生以下

【発売日】10月7日(火)



2025ピッコロ寄席

桂吉朝一門会

年に5回開催されるピッコロ寄席。毎年12月は、上方落語の本格派・故桂吉朝の名を遺し芸を継ぐ落語会「桂吉朝一門会」を開催しています。

【演目・出演】（出演順）

「道具屋」桂 弥壺、「いたりきたり」桂 吉の丞、「崇徳院」桂 あさ吉

「親子茶屋」桂 吉弥、「池田の猪買い」桂 よね吉

【日時】12月14日(日) 14時 【場所】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】〈全席指定〉一般3,000円 高校生以下1,500円

【発売日】10月9日(休)



兵庫県立芸術文化センター

【申込み・問い合わせ】 ☎0798-68-0255 10時～17時・月曜休み ※祝日の場合翌日

<https://www.gccenter-hyogo.jp>アクセス ▶ ■ 阪急西宮北口駅南改札口（連絡デッキで直結）
■ JR 西宮駅より徒歩約15分（阪急バス7分）

チケット発売中

レイフ・オヴェ・アンスネス
ピアノ・リサイタル

レイフ・オヴェ・アンスネス

現代を代表するピアニスト。グラミー賞11回ノミネート、グラモフォン賞7回受賞。世界を舞台に活躍しているアンスネスが日本で披露する、2025年秋の特別プログラムです。ニューヨーク・タイムズでは「威厳ある優美さ、力強さ、洞察力を有するピアニスト」と評されるアンスネス。この言葉を体現するような数々の曲を、どうぞ心ゆくまでお楽しみください。

【出演】ピアノ：レイフ・オヴェ・アンスネス

【日時】11月3日(月・祝)14時 【場所】芸術文化センター KOBELCO 大ホール

【入場料】A席5,000円、B席4,000円、C席3,000円、D席2,000円

チケット発売中

いいむろなおきマイムカンパニー

「ゾウをのみこんだウワバミの絵」

マカオでも上演し好評を博したマイム作品が、当センターに初登場！7人が80分間出ずっぱり！逃げも隠れもできないステージ上で、言葉を用いずに身体表現で物語を立ち上げます。

【作・演出・振付】いいむろなおき 【出演】いいむ

ろなおき、田中啓介、三浦 求、谷 啓吾、羽田兎桃、川島由衣、さゆ〜る

【日時】11月15日(土)15時 【場所】芸術文化センター 阪急 中ホール

【入場料】一般3,000円、U-25 1,500円



いいむろなおき

チケット発売中

PAC オーケストラ 第164回定期演奏会

サッシャ・ゲッツェル×河村尚子
ベートーヴェン&ブラームス

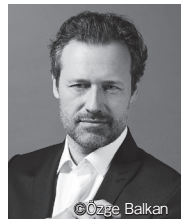
PAC 定期初登場、ウィーン生まれの指揮者、ゲッツェルがウィーンゆかりの3人の大作曲家を取り上げます。西宮生まれドイツ育ちのピアニスト、河村尚子が得意のベートーヴェンでPACに再登場します。

【出演】指揮：サッシャ・ゲッツェル、ピアノ：河村尚子、管弦楽：兵庫県芸術文化センター管弦楽団

【日時】11月7日(金)、8日(土)、9日(日)の各日15時

【場所】芸術文化センター KOBELCO 大ホール

【入場料】A席5,000円、B席4,000円、C席2,500円、D席1,000円



サッシャ・ゲッツェル



河村尚子

現代書の総合展

第78回 飛雲展

併催 ― 池田孝治書作展 ― （東館展示室）

●作品解説会 18日(土) 13:00～ 於：本館展示室

と き 令和7年10月17日(金)～19日(日)
10時～17時（最終日は16時まで）ところ 原田の森ギャラリー（兵庫県立美術館 王子分館）
（神戸市灘区原田通3-8-30） ☎(078) 801-1591主 催 飛雲会
後 援 兵庫県・神戸市・神戸市教育委員会
（公財）兵庫県芸術文化協会・（公財）神戸市民文化振興財団
神戸新聞社・奎星会・兵庫県書作家協会

飛雲会 〒653-0841 神戸市長田区松野通1-5-19 パルテール新長田201 ☎(078) 261-2575

令和7年度 県民文化普及事業

ふれあい文化の祭典 11月のイベント

令和7年度の県民文化普及事業「ふれあい文化の祭典」で、11月に県内各地で開催されるイベントを紹介します。秋の涼しさを感じる兵庫を舞台に、多種多様な芸術文化をお楽しみください。詳細は各行事の事務局まで。

ひょうご洋舞フェスティバル

【問い合わせ】兵庫県洋舞家協会 ☎078-362-7086

「ソワレ・ド・バレエ」と「眠れる森の美女」よりオーロラ姫の結婚」の2作品を上演します。

■日時 11月2日(日)18時～20時(予定) ■場所 県立芸術文化センター 阪急中ホール ■入場料 当日5,500円、前売5,000円



兵庫短歌祭

【問い合わせ】兵庫県歌人クラブ ☎0790-85-0021

公募作品の表彰と講評、そして紅白2組に分かれての「現代歌合せ」を開催します。

■日時 11月8日(土)13時～16時30分
■場所 神戸市立中央区文化センター ■入場料 無料



兵庫県いけばな展(神戸会場)

【問い合わせ】兵庫県いけばな協会 ☎080-4564-1758

兵庫県いけばな協会加入流派の家元、代表者および会員による華麗ないけばな展です。

■日時 11月12日(水)～17日(月)10時～19時
■場所 大丸ミュージアム(神戸) ■入場料 700円(高校生以下無料)



第37回全国手工芸美展 in ひょうご

【問い合わせ】同展実行委員会 ☎080-5305-7902

心のぬくもりが伝わる手作り作品を募集し、展示する全国でも珍しいコンクールです。

■日時 11月14日(金)～16日(日)10時～17時(最終日は15時まで)
■場所 原田の森ギャラリー 大展示室 ■入場料 無料



和太鼓フェスティバル in 三木

【問い合わせ】同実行委員会 ☎0794-82-2000(内線3555)

県内の和太鼓チームが集う祭典。多様な打ち手による魅力的な響きをお楽しみください。

■日時 11月30日(日)13時～16時 ■場所 三木市文化会館
■入場料 無料 ※入場整理券が必要です。詳細是三木市 HP 参照→



笹倉鉄平ちいさな絵画館の外観



兵庫県丹波市出身で、“光の情景画家”と呼ばれる笹倉鉄平氏(70)の個人美術館が西宮市の住宅地にあります。白い洋風の建物、花壇のある前庭が目を引きま。

2007(平成19)年に開館してから18年、鉄平氏の油彩、水彩、スケッチなどの肉筆原画を展示してきました。館長は鉄平氏の弟の笹倉正裕さん。妻で副館長の知子さんとともに、鉄平氏から任されて館の運営に取り組んでいます。

鉄平氏は武蔵野美術大学商業デザイン科卒。グラフィックデザイナー、イラストレーターを経て30代半ばで画家活動に専念します。ヨーロッパなどにたびたび出掛けて情景画を中心に描き、日本各地の有名百貨店で個展を催して幅広いファンを獲得してきました。海外でもイタリア、中国などで計5回の個展を開いています。

画風の特徴は多彩な“光”の表現とされます。昼間の自然光、夜間の人工の光と作品には様々な表情の光が満ちあふれ、観る人の心に“希望の明かり”を灯すと言われます。そんな鉄平氏の作品を、絵画館では常設展示ではなく年に数回の企画展で紹介しています。鉄平氏がテーマ



展示室の様子

「フンワリ心ときめく絵」展を開催中

★おすすめスポット★
たずね歩き

笹倉鉄平ちいさな絵画館 “光の情景画家”で人気

を決めて作品20数点を選び、拠点の東京から西宮に作品を輸送して展示替えをしています。

今年の企画展は3回。9月中旬からは「フンワリ心ときめく絵」展を12月15日まで開催中です。鉄平氏が巡ったヨーロッパの旅先から、心がフッと浮き立ち、軽くなるような情景がテーマです。音が外に漏れ聞こえてくるような『秘密のピアノ・バー』、クリスマスパーティーの外の街路を描いた『ソワレ・ド・ノエル』(写真)など、光と影を巧みに表現し、猫や犬、子どもたちを配置した、ほのぼのと心温まる作品と出あえます。

鉄平氏の才能を物語る高校時代の逸話があります。岐阜・白川郷の合掌造りの風景をテレビで見て感動し、その記憶をもとに一晩で観光ポスターを制作して金賞に選ばれたそうです。「ヨーロッパの風景も瞬間で頭に焼き付け、アトリエに戻って再現するのです」と館長は紹介してくれました。

絵画館の建物や内装、庭のデザインも鉄平氏が手がけ、西宮と似ている地中海地方の風情を採り入れたそうです。「鉄平さんの絵には心が落ち着き、人として大切にしたいものがあります」と館長ご夫妻。そして「今後も来館者が安らげる場であり続けたい」と話しています。

企画展の作品「ソワレ・ド・ノエル」
©Teppe Sasakura Office, Inc.

おでかけ ちょっとメモ

▶ 笹倉鉄平ちいさな絵画館 = 西宮市能登町11-17。開館時間は10時～17時(入館は16時半まで)。休館は火・水・木曜及び展示替え期間。入館料は大人400円、大学生200円、小・中・高校生100円。当協会友の会会員は100円引き。阪急西宮北口駅から徒歩約15分、タクシーで約5分。☎0798-75-2401

▶ 廣田神社 = 西宮市大社町7-7。主祭神は天照大神の荒魂。日本書紀から創建は201年(神功皇后元年)とされる。境内総面積は5万3千㎡。阪急西宮北口、甲東園、JR西宮、阪神西宮の各駅からバスで「廣田神社前」下車すぐ。☎0798-74-3489

は弥生時代の3世紀初頭とされ、県内で有数の古社の一つ。阪神タイガースが毎年、シーズン前に優勝祈願をする神社としても知られています。境内には県指定天然記念物のコバノミツバツツジ群落があり、春にはつつじ祭りが開かれます。



阪神タイガースが毎年優勝祈願する廣田神社

読者プレゼント

笹倉鉄平ちいさな絵画館の招待券を抽選で5組10人に。応募方法は本紙2面。10月17日(金)必着。

県内有数の古社・廣田神社

絵画館から西へ歩いて20分ほど。自然豊かな広田山公園内に広い境内の廣田神社があります。創建

ワンランク上の
プレミア・プログラム兵庫でサステナブル体験！
ひょうごフィールドバビリオン

丹波「日本六古窯」丹波焼の里を訪ねる

窯元での陶芸体験、
窯元路地歩きなど

大阪・関西万博会場で開催中！

HYOGO ミライバス

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs